

1 「夜のクラゲは泳げない ミニボイスドラマ」

2 #6 みー子のバイトは終わらない

脚本 横山いつき

3
4 登場人物 光月まひる

5 山ノ内花音

6
7 ○焼き鳥屋

8
9 SE..居酒屋の喧騒

10 SE..花音、歩いてきて座る

11
12 花音 「おー、賑わってきた感じ？」

13
14 まひる 「だね。ちょうど注文揃ったとこだし、いいタイミング」

15
16 花音 「これが全部みー子さんのファンだったら凄いよね」

17
18 まひる 「さすがにそれはないでしょ。あのライブの後、ファンは結構
19 増えたみたいだね」

20
21 花音 「だね。まあ3月だし、送別会とか多いのかも。

22 ほら、テーブルのお客さんどこも満員だし」

23
24 まひる 「あー、そっか。そうだった。ここ、そもそも居酒屋だもんね」

25
26 花音 「おー、焼き鳥美味しそう。見事な並べ方ですね、ヨル先生」

27
28 まひる 「普通に並べただけだから……」

29
30 花音 「それもまたセンスってことで」

31
32 まひる 「もう。ていうか、そろそろ18時だよね。

33 みー子さん終われるのかな？」

34
35 花音 「どうだろ……さっき調理場入って行ったの見たけど」

36

- 37 まひる 「えー……それじゃ、今日は無理そう？」
- 38
- 39 SE…スマホを操作
- 40
- 41 まひる 「あ、メッセージ来てた。急遽シフトの子が休みで空いちやっただから、厨房入るって」
- 42
- 43
- 44 花音 「あちゃー、それじゃ仕方ないね。せっかく一緒にご飯食べるチャンスだったのに」
- 45
- 46
- 47 まひる 「まあ、キウイちゃんといちちゃん来れなかったし…
- 48 でも凄いいよね、みー子さん、忙しくなったのにこっちも続けてて。私だったらできるかなあ」
- 49
- 50
- 51 花音 「そうやってみないとわからないけど、吹っ切れてていいよね」
- 52
- 53 まひる 「お、追伸。今日は無理だからまた今度だつて」
- 54
- 55 花音 「そっか、残念。でも私たちも二人だけだし。案外それで良かったのかも」
- 56
- 57
- 58 まひる 「だったら今度は亜璃恵瑠ちゃんも一緒にいいんじゃない？
- 59 みー子さんと一緒に頑張ってるみたいだから」
- 60
- 61 花音 「いいね！ そうしよう！」
- 62
- 63 まひる 「でも、春休みのうちに予定合うかなあ……学校始まったら亜璃恵瑠ちゃん呼ぶのって結構難しいよね」
- 64
- 65
- 66 花音 「あ……そうだった。私たちも冬休み終わりかあ」
- 67
- 68 まひる 「花音ちゃん、学校のこと忘れてたでしょ」
- 69
- 70 花音 「まあほら、行っても行かなくても同じようなもんだしさ」
- 71
- 72

- 73 まひる 「新学期始まったたら私たちも三年生だよ？ JK最後の一年
- 74 なんだから、しっかり満喫しとかないと大損じゃない？」
- 75
- 76 花音 「どうだろ。ヨルってその辺ちよつと腹黒いよね……」
- 77
- 78 まひる 「……へ？ いや、やっぱり楽しんどいた方がいいかなーって
- 79 思ってるだけ」
- 80
- 81 花音 「でも、学校にいるよりJELLEのみんなと一緒にいた方が
- 82 楽しくない？」
- 83
- 84 まひる 「そうかもけどさ。どっちも楽しい方がいいかなーって」
- 85
- 86 花音 「うーん……検討させていただきます」
- 87
- 88 まひる 「……でもまあ、今は目の前の目標に一直線っていう方が
- 89 花音ちゃんらしいかもね」
- 90
- 91 花音 「やっぱりヨルは私のことわかってくれる」
- 92
- 93 まひる 「褒めてはないけどね」
- 94
- 95 花音 「えー」
- 96
- 97 まひる 「ほらほら、焼き鳥のこと忘れてるよ。花音ちゃんどれ食べる？」
- 98
- 99 花音 「じゃあ、とりあえず塩で！」
- 100
- 101 まひる 「なんか通みたいな口ぶりだね……」
- 102
- 103 花音 「前に食べた焼き鳥丼はタレだったし、今回は塩から！」
- 104
- 105 まひる 「(小声で)ちゃんとした理由だった……」
- 106
- 107 花音 「(焼き鳥を食べて)はむはむ……何？」
- 108

-
- 109 まひる 「ううん、なんでもない。私は何食べようかなー」
- 110
- 111 SE…スマホに通知
- 112
- 113 まひる 「お、花音ちゃん。大ニュース。お詫びに会計してくれるって」
- 114
- 115 花音 「じゃあもうちょっと追加で頼んじゃう？
- 116 変わり串とかデザートとか！」
- 117
- 118 まひる 「デザートといえば気になってたんだよね。ええと……そうそう、
- 119 このプリン」
- 120
- 121 花音 「いいねえ。じゃあ私はこれにしようかな。特製。パイタンスープ！」
- 122
- 123 まひる 「それデザートでいいの!？」
- 124
- 125
- (終わり)